

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～24°C台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の3.1倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。
- イカ釣---ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。
- 定置網---五島魚目地区では、ダツなどが1日1統当たり450kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。
- 一本釣---北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり199kgの水揚げで、前週の66%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり26kgの水揚げ（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(11/20～11/25の6日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸～三沢北東沖で操業。沿岸イカ釣(氷蔵船)は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。鳥取県西部(沖合船)は、2日延4隻、総計455箱、1航海最高73箱、平均113.8箱。ケンサキイカ(2～3立)437箱、アオリイカ18箱を漁獲。
(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>